

令和 2 (2020) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	初級経営学演習 (First-level Exercises in Management) 393118-14300					担当教員	生島 義英 (イクシマ ヨシヒデ)		
科目区分	専門	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL, 資格対応科目								

① 授業のねらい・概要

『経営学検定試験』の「初級」に合格するためには、1年次の「経営学」、2年次の「企業論」・「現代経営」・「マネジメント 1・2」および経営学関連科目で学習した内容を確実に理解するとともに、試験対策として一定の“テクニック”を身に付けるが不可欠である。そこで、本演習では試験範囲の内容を総復習するとともに、過去に出題された問題を解いてもらい、これらの理解度を確認する。演習を通じて理解できていない項目を確認し、改めて理解するように努めてもらいたい。1年次、2年次に学習した内容の問題を解くことにより、経営学を体系的に理解できたことの【証し】とする。なお、本演習の内容は、『経営学検定試験』の「初級」の試験範囲全てに該当する。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

専門的知識・技能を活用する能力

③ 授業の進め方・指示事項

- ①前回授業の振り返り、振り返りレポートのフィードバック
- ②該当範囲の授業(遠隔授業は Zoom を用いたリアル配信)
- ③経営学検定初級試験の問題を解く(Google フォームを利用)
- ④自動採点
- ⑤間違った問題の自己分析
- ⑥授業終了時振り返りレポートの作成と事後課題の取組み
- ⑦Google Classroom を使用し、資料・課題の配布、課題の回収、学生と教員の質疑応答、学生同士の議論を実施する。

「指示事項」

試験演習後、必ず自己分析し、自分の弱点を把握し、弱点の強化に努める。

振り返りレポートは、試験演習の結果から自己分析するとともに授業で習得した知識を簡潔にまとめることにより知識の定着を図る。

Google classroom が利用できるように、メンバー登録を行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

経営学/企業論/現代経営/マネジメント 1/マネジメント 2

⑤ 標準的な達成レベルの目安

(i) 『経営学検定試験』の「初級」に合格する能力を身につけること。
⑥ テキスト（教科書）
経営学検定試験協議会監修・経営能力開発センター編（2018）『経営学検定試験公式テキスト① 経営学の基本』第6版、中央経済社 配布資料
⑦ 参考図書・指定図書
経営学検定試験協議会監修・経営能力開発センター編（2010）『経営学検定試験公式テキスト キーワード集』

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	40%				10%		100%
(i) 『経営学検定試験』の「初級」に合格する能力を身につけること	50%	40%				10%		100%
フィードバックの方法	試験問題に取り組んだあと、できない問題を分析し、自身の理解が進んでいない項目を把握し、復習する。その内容を振り返りレポートにまとめ、自身が認識する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
昨年度担当なし

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	イントロダクション	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	経営学検定初級の実施概要および実施時期を確認する。 問題の全体傾向を把握する。 60分
2	過去問題の演習と解説 問題演習①	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習①の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。 60分
3	過去問題の演習と解説 問題演習②	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習②の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。 60分

4	過去問題の演習と解説 問題演習③	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習③の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
5	過去問題の演習と解説 問題演習④	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習④の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
6	過去問題の演習と解説 問題演習⑤	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑤の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
7	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑥	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑥の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
8	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑦	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑦の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
9	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑧	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑧の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
10	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑨	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑨の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
11	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑩	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑩の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
12	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑪	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑪の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
13	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑫	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑫の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
14	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑬	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	問題演習⑬の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	60分
15	過去過去問題の演習と解説 問題演習⑭	配布物 公式テキスト① 経営学の基本	今までのすべて問題演習の見直しと不正解問題をテキストで調べ、内容を正しく理解する。	180分

⑪ アクティブラーニングについて

協働学修型ALを採用する。各回の演習において、まずは過去問題を解き、正解を確認後にグループワークを行い、問題に対する解答のプロセスを話し合い、理解を深める。グループメンバーで話し合うことにより相互の理解を深め、知識の定着を促進する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

昭和63年(1988年)4月から平成31年(2019年)3月まで31年間民間企業に在籍し、在籍期間中は、情報システム部門においてシステム設計と運用など、物流管理部門において新規仕組みの構築と運用改善・物流教育など、人事労務管理部門において制度設計や法令変更対応、組合との交渉など、総務部門において株主総会・取締役会の事務局運営やコンプライアンスなどの業務に従事した。実務担当者、管理職、グループ企業の実務経験など様々なマネジメントに携わった。

実務経験と授業科目との関連性

実務経験や部門長として管理職経験、グループ企業での役員経験を活かし、実務経験がなく、実務を想像しにくい学生に対して、より実務的に具体的に経営学全般について教授することができる。検定試験題の内容を具体的に説明することができる。